

## 天満大池協議会 (兵庫県加古郡稲美町)

- 天満大池は、加古川と明石川に挟まれた印南野(いなみの)台地に位置する。兵庫県南部では、古くから多くのため池が造成されており、中でも天満大池は県内最古のため池と言われている。
- この地域では、ため池の恩恵を最大限生かし、特産品の「いなみ野メロン」、「万葉の香(米)」、「いなみトマト」など、活力ある農業の振興に努めている。また、ため池の管理を多面的機能支払の活動組織が担っている例(ため池の管理組織＝多面的機能支払の活動組織)が多い。
- 天満大池においては、平成14年から天満大池土地改良区が近隣の小学校等と連携し、絶滅が危惧される水草であるアサザの保全活動などを開始した。平成19年度に9集落が参加した天満大池協議会を設立し、多面的機能支払交付金を活用して、さらに活動を充実し、近年は特定外来生物であるナガエツルノゲイトウの駆除活動などにも取り組んでいる。

### 【地区概要】

- ・認定農用地面積 187.9ha  
(田 187.7ha、畑 0.2ha)
- ・資源量 水路58.3km、農道18.0km、  
ため池8箇所
- ・主な構成員 農業者、自治会、  
土地改良区
- ・交付金 約17百万円(R4)

農地維持支払  
資源向上支払(共同、長寿命化)

### 連携前の状況や課題

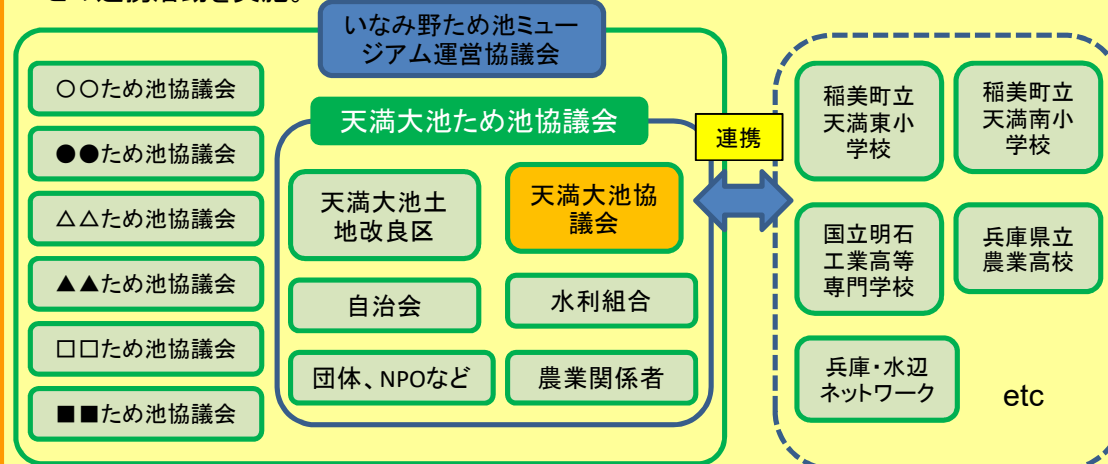
- 天満大池土地改良区の組合員等が、ため池などの地域資源の保全活動を行っていたが、地域住民の高齢化等に伴い、将来的な活動の継続、地域の将来を担う人材の確保等が懸念されていた。



天満大池を中心とする本取組の対象地域

### 連携内容と組織の関係

- 天満大池協議会(多面的機能支払活動組織)が、天満大池土地改良区や自治会等と連携しながら、ため池の管理をはじめとした地域資源の保全活動とともに、天満東小学校等との連携活動を実施。



※ 兵庫県東播磨地域では、ため池の管理を多面的機能支払の活動組織が担っている例が多い。それら組織は地域の団体とともに「ため池協議会」を設け、さらに、それぞれのため池協議会、関係機関等が「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」を設置。各ため池におけるイベントへの参加を、ミュージアムを経由して地域の学校等を含め幅広く呼びかけあうなど、ため池に係る活動のみならず、それを通じた地域づくりや人材育成の促進を図っている。

### 取組のポイント

- 天満大池協議会が中心となり、近隣の小学生にアサザの保全活動等を体験する機会を提供している。

また、アサザ祭り、クリーン作戦などのイベントも企画し、ため池ミュージアムの枠組み等も活用して、児童生徒はじめ幅広い地域住民の参加を得て開催している。

- 小学校との連携活動については、単年度の成果を求めず、将来に向けて「継続は力なり」をモットーに気負わず取り組んでいる。それが活動組織と小学校のいずれにも負担にならず、活動が継続できる要因となっている。

## 年間の主な活動内容

### きっかけ(H14)

兵庫県から天満大池土地改良区に、教育機関と連携したアサザの保全活動を提案・依頼されたことをきっかけに天満東小学校の3年生を対象に連携が開始された。

### ⑤天満大池クリーン作戦(1月)

○ アサザ祭り同様、天満大池協議会等の関係団体が協力し、ため池の清掃活動を実施。子供たちに楽しんでもらえるよう、ため池の環境を守るキャラクター「ため池マン」などのショーを用意し、少しでも記憶に残る工夫を凝らしている。兵庫県や稲美町も参画し、官民一体となって次世代を担う人材育成に取り組んでいる。



### ①アサザ植え(6月)

○ 天満東小学校を対象としたアサザ植え体験を実施。天満大池協議会、兵庫県、天満大池土地改良区など、ため池保全に関わる団体が参画し、地域をあげて取り組んでいる。



### ②アサザ祭り(9月)

○ アサザの保全活動に加え、天満大池協議会や土地改良区の活動内容を地域の方に知っていただくことを目的に、毎年アサザ祭りを開催。天満大池ため池協議会やいなみ野ため池ミュージアムなどの枠組み(ネットワーク)も活用し、小中学生をはじめ、多くの参加者を集めている。子供たちのため池に親しみを持ってもらおうと、各種イベントも用意している。



水生植物・生き物の説明会

ため池の保全に多面的機能支払交付金を活用し、ため池の保全と人材育成等を実施。

### ④アサザの株分け(10月)

○ 上級生から下級生にアサザの株分けを実施し、活動を引き継ぐことにより、活動継続は20年におよんでいる。



### ③ナガエツルノゲイトウの駆除活動(10月)

○ 平成30年頃から発生している特定外来生物の駆除も実施。



## 連携による波及効果



### 【地域への貢献と人材育成】

○ 天満東小学校との連携は20年を迎え、活動開始時の小学生は既に成人。地道に活動を継続することにより、ため池の保全活動(多面的機能支払活動)をはじめ、地域資源に対する愛着を持った人材を着実に育成。ひいては、そのような人材が将来にわたって地域を支えていくことを期待。



## 今後の展望

- 子供たちが大人になったときに、少しでも天満大池や地元のことを知ってもらえるように、今後も地道に連携活動を継続していきたい。
- このような活動を通して、地域住民に少しでも天満大池のこと知ってもらえるように、また、ため池は地域の財産という意識を持ってもらえるよう今後も継続していきたい。